

第8回企業紹介

岡本住建 株式会社

〒503-0031 岐阜県大垣市牧野町1丁目293-1

語り手：岡本住建 株式会社 代表取締役会長 岡本 雅量 氏
聞き手：大垣西濃信用金庫 事業支援部長 清水 威

清水部長 平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。さて、御社は平成28年に創業70周年の節目を迎えられました。初めに御社の創業および事業の変遷についてお聞かせ下さい。

岡本会長 弊社は、創業者の岡本卓二が戦後間もなく帰郷、辺り一面焼け野原の悲惨さを目の当たりにし、地域の復興を図るために木材業を昭和21年3月に創業したのが始まりです。その当時は木材業を始めた方が当地にて7～8社あり、青墓の木材も豊富であったことから、樵（きこり）の方々もお見えになりました。親戚の家の小屋（垂井町綾戸）にて、製材機1台からの賃挽き製材がスタートできたと聞いています。



代表取締役会長 岡本 雅量氏



岡本住建 株式会社

創業 昭和21年3月

設立 昭和32年6月

事業内容

○パナソニック耐震住宅工法テクノストラクチャーによる木造住宅 設計、施工、販売

○【雨染な家】無垢の木と漆喰・自然素材の家 設計、施工、販売

○在来木造住宅 設計、施工、販売、他

資本金 8,952万円

従業員数 35名

支店 岐阜支店

(岐阜市宇佐南4丁目20-1)

その後、仕事帰りに牧野町（現在本社西の土地、竹藪林）を開墾して、昭和23年に製材工場・事務所兼住まいを建て本格稼働しました。稼働後は、一般建築（市営住宅、個人住宅、小中学校木造増改築）、素材生産販売、土木工事等々を開始し業容を拡大、その後パネル（基礎、躯体の仮枠製品）が中心になり、特に東京オリンピックによる建設ラッシュ時には非常に多忙となりました。しかしながら、オリンピックバブルが過ぎ取引先倒産による売上金の回収が非常に悪くなり、大変な試練があったことを（私が中学生のころ）覚えています。

パネルの時代は過ぎ、時代はパレット（資材運搬用の梱包材、フォークリフト用資材運搬用台、電気製品等の梱包材）生産が主品目になりました。

昭和43年にナショナル住宅中部地区代理店になったことから、本格的に住宅産業に参入しました。昭和58年の、垂井ユニチカパナタウン（全195区画のうち当社150区画超え）が最大分譲販売実績です。後にナショナル住宅部門は、パナホーム岐大（岡本住建とパナホームとの資本折半会社、協業会社）と社名変更し、戸建100棟超え／年間にもなりましたが、平成13年ごろ弊社から分離しました。またマンション分譲販売も数棟携わり、平成7年には、現在主力商品であるパナソニック耐震住宅工法テクノストラクチャーの販売を開始しました。平成15年には、クリーンエネルギー事業部を開設し、平成16年には東海地区初の全区画太陽光発電&オール電化の街「ソーラーエコタウン」（スマートエコと同時に商標登録）を建築・販売、平成19年には現在の岐阜支店を開設し、常設展示場2棟を建設しました。

今年平成29年現在、岐阜社屋を3階建にて新築しており来春完成予定です。



昭和36年頃の本社①



昭和36年頃の本社②



昭和48年頃の第2工場

— 御社の主な事業内容についてお聞かせください。

岡本会長 “住宅産業を通じて社会に奉仕する”を信条として“いい家づくり”に邁進しております。

現在はパナソニック耐震住宅工法“テクノストラクチャー”をメインにして個人住宅を販売・建設・メ

メンテナンスと一貫して事業を行なっております。特に昨今大きな地震による災害・被害が大きく問題になっており、特に木造住宅はいろんな面で問題視されておりますが、そうした中で、この耐震住宅工法の大きな特徴として、一邸一邸個別に**基礎まで含めた本格構造計算**がされており（一般的な簡易構造計算ではありません）安心して住んでいただける建物構造になっています。また自然素材感に満ちた本格在来木造建築も建築させていただいております。

分譲住宅だけではなく“注文住宅”も各地で展開させていただいております。分譲地政策もこの地で早くから実施し、多くの実績を上げさせていただいております、比較的大きい敷地に大きい建物で、ゆったりとした住環境を分譲できたと思っております。

また、“ソーラーエコタウン”と称し平成15年から全区画全棟太陽光発電搭載のオール電化住宅、スマートエコな街づくり（当時中部電力管内初といわれた）、先駆けの街づくりを実施してまいりました。当初は地球環境保護、温暖化防止、光熱費削減の高貴な考えのもとスタートしました。

その後、欧州諸国の制度を模倣し、政府施策から売電収入で設置費が賄えるようになり、積極的に太陽光発電を普及して来ましたが、本取り組みは蓄電池の動向によって大きく変わってくるものと思います。



平成21年大垣市

— 業界や御社の現状や課題についてお聞かせください。

岡本会長 人口減少、少子高齢化、中古住宅の再利用、環境保全問題等々課題は山積みとなっています。

また、日本の住宅は欧米諸国と比べて寿命が短いと云われて久しいですが、これをどう解決していくのか？ 国策はZEH（ゼロ・エネルギー・ハウス）に向かっていますが、コストとの兼ね合いも大きな課題です。あまり過剰な設備・仕様にして、更に高額になってしまえば需要が追いつかなくなり、建築意欲が薄れてしまいます。

もっと大きな課題として、“住宅が人を、健康で幸せに出来るか”があります。衣・食・住といわれた時代から 医（健康）・食・住へと変わり、“住まい”が健康に大きな影響を与えるともいわれており、これからの住宅空間のあり方も大きく変化していくと考えています。

これに対応するためには基本を大切に、“いい家づくり”を誠実に取り組み、永続性のある企業になるべく、真剣に努力するしかないと思います。

— 今後の事業展開、抱負についてお聞かせください。

岡本会長 地域に密着し、地域に愛され、信頼され、必要に思っただけの会社、安心・信頼して仕事を依頼していただける会社、いつでも気軽に相談・声を掛けていただける会社にならねばと思います。

創業71年を迎え、今までのお世話になった人に感謝して、今後さらに岐阜市以東にももっと力を入れて展開し発展していきたいと思っております。

建てていただいたお客様に感謝し、アフターメンテナンスのフォローが行き届いた会社として兄弟・子供・知人・親戚へ紹介していただける会社、よくやっているよと言って頂ける会社となるように、さらに精進努力してまいります。今後ともご支援賜りますよう御願いたします。



岐阜支店



岐阜支店モデルハウス

— 本日は大変お忙しいところ、興味深いお話を賜り誠に有難うございました。これからも快適な住まいづくりを通じて地域に貢献する企業として一層躍進されますよう御社の今後増々のご発展を祈念致します。